

市立甲府病院 地域医療連携だより

平成 30 年
7 月号
Vol.20

基本理念 「いのちに光を、心にやすらぎを」

いのちの大切さを重んじ、患者さんとの相互信頼の上に立った医療をめざします。



地域がん診療連携拠点病院

目次

- ◆副院長あいさつ
- ◆看護部長あいさつ
- ◆新任医師紹介
- ◆地域医療連携勉強会について
- ◆地域医療連携係より

副院長 あいさつ

新緑の候、各医療機関の皆様には益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。

日頃から当院の運営に格別のご理解とご協力を頂きまして厚く御礼申し上げます。

平成 30 年 4 月は診療報酬・介護報酬の同時改定があり、対応に苦慮されている施設等もあるかと思ひます。当院においても職員への周知・研修を終え、新たな加算のための組織の改編などを検討しているところです。今回の同時改定では基本構想として、Ⅰ地域包括ケアシステムの構築と医療・介護の連携強化、Ⅱ医療機能の分化・連携の推進、効率的な医療提供体制の構築、Ⅲ質が高く効率的なサービスによる高齢者の自立支援等を謳っており、超高齢化社会と医療費の高騰を見据えて医療と福祉の一体化、効率的な医療、在宅医療を主体とした地域完結型医療が求められています。また基本方針として、医療機能の分化・強化・連携の推進、医療従事者の負担軽減・働き方改革の推進を挙げています。

当院は地域の中核病院として専門医療の提供、救急医療への対応、回復期の患者さんの自宅復帰への支援などを行ってまいりましたが、新たな医療需要への対応も求められています。しかしながら医療資源は限られており、救急医体制を何とか維持しているのが現状です。医療資源を有効に活用するには、働き方改革を含めて効率性を高めることは勿論ですが、更なる病病・病診連携の深化が必要です。そのためには疾病を中心とした紹介状での連携だけでなく、患者様を中心とした多職種による顔の見える相互的な連携が大事だと思います。当院は平成 27 年 10 月より「総合相談センター」を開設しその中に「総合相談室」、「看護支援室」、「地域医療支援室」を設置しました。総合相談室では患者さんからの医療相談やご意見、ご要望他すべてに対応し、地域医療支援室では受診・予約システムの簡素化・利便性の向上に取り組み、看護支援室では退院支援・施設訪問などを介して適切な医療情報の提供に努めるなど一元的に支援できる体制を整えています。地域完結型の医療の実現のためには、地域の先生方との緊密な連携が不可欠であり、今後も先生方とともに地域医療の充実に努めてまいりますので、ご理解とご協力をお願いいたします。



副院長
青山 香喜

市立甲府病院
地域医療支援室地域医療連携係

〒400-0832 山梨県甲府市増坪町 366 番地
TEL 055-244-1111 (内線) 2211
FAX 055-220-2660

看護部長あいさつ



看護部長
小石川 好美

このたび、前小田切看護部長より引き継ぎ、看護部長を拝命いたしました。

当病院看護部は4月に11名の新卒看護師を迎え、正規・嘱託看護師合わせ352名、看護補助者25名で新年度をスタートいたしました。看護師の中には専門看護師1名、認定看護管理者1名、認定看護師14名が在籍し、スペシャリストとジェネラリストが協働し、看護の質の向上に努めています。

当病院は2015年地域包括ケア病棟52床の開棟、および看護支援係設置、2017年には地域支援室に2名の看護師を配置いたしました。今年度は看護支援係に入退院支援部門を新設し、入院前に患者情報の聴取、各種スクリーニング、入院説明を実施し、入院前から退院、在宅療養を視野に入れ、早期介入ができるようシステムの構築の取り組みを始めていました。

前小田切看護部長はこれらの取り組みを、2016年を構築の年、2017年を実践の年とし、地域の特性に応じた地域包括ケアシステムの実現に向け看護の力を随所で発揮してまいりました。さらに2018年は発展の年とし、急性期病棟、地域包括ケア病棟、看護支援係、地域支援室、外来と連携、情報共有を図り、地域包括ケアシステムの“医療”の部分の担いながら、“病院完結型”から“地域完結型”へ地域包括ケアシステムづくりの推進に参画していきたいと考えています。これまでの取り組みを通して、看護計画やカンファレンスの充実、退院前後訪問の実施など当院の看護師たちの看護の視点も、院内から在宅、地域に向いていることを実感しています。患者様、ご家族はもちろん、連携する地域医療を支える皆様からも「市立甲府病院を選んでよかった」と感じていただけるような病院づくりを目指していきたいと思っております。皆様には、看護部だけでなく、当院職員、体制について忌憚ない意見をお聞かせいただき、さらなる地域包括ケアシステムの中での当院の役割遂行に努めていきたいと考えております。専門知識だけでなく“人を育成”することを心掛け、地域の中核病院として地域の皆様に信頼される看護の提供を目指していきたいと考えています。

新任医師紹介



腎臓膠原病内科

科長

あきやま だいちろう
秋山 大一郎

本年4月から腎臓膠原病内科に赴任いたしました秋山 大一郎と申します。

2002年山梨大学(当時山梨医科大学)医学部を卒業して早16年が過ぎ、今年17年目を迎えます。今まで得た経験、知識をもとに、この病院で少しでも地域医療に貢献できるよう努力していきたいと考えています。

どうぞよろしくお願い致します。

消化器内科

医長

たかだ ひとみ
高田 ひとみ

本年4月より消化器内科に赴任いたしました、高田 ひとみと申します。

山梨大学医学部を卒業し、同医学部第一内科に入局。医学部附属病院で3年間の研修を終了し、5年間武蔵野赤十字病院に勤務をしておりました。

お話を伺いながら、皆様に貢献できるよう、精一杯頑張っていきたいと思っております。今後ともよろしくお願ひいたします。



形成外科

医師

にしおか ひろし
西岡 宏

本年4月より形成外科に赴任いたしました西岡 宏と申します。

岐阜大学卒業後、信州大学形成外科学教室に入局し、昨年まで信州大学附属病院で勤務しておりました。形成外科では、機能のみならず形態的にもより正常に、より美しくすることによって、生活の質“Quality of Life”の向上に貢献します。小さな事でもお気軽にご相談いただければと思っております。何卒よろしくお願ひいたします。

産婦人科

医師

ごう れい
教 礼

本年4月に産婦人科に赴任してまいりました教 礼と申します。

平成27年に山梨大学産婦人科に入局し、山梨県内の病院で勤務しておりました。産婦人科は女性健康を守る科でありながら、症状があっても受診がためられることもある科だと思います。患者さんの気持ちを理解し、より良い医療を提供できるように努力していきたいと思っております。今後ともよろしくお願ひいたします。



はらい のぞみ

原井 望



糖尿病・内分泌内科 医師

本年4月より糖尿病・内分泌内科に赴任いたしました原井 望と申します。

山梨大学医学部附属病院を卒業後、山梨大学医学部附属病院第三内科に入局し、4年間大学病院に勤務しておりました。厚生労働省の調査では、日本の糖尿病有病者は1,000万人以上に上ったと発表されました。糖尿病の合併症を防ぎ、患者様が糖尿病のない方と同じような生活を送っていただけることを目標に日々診療にあたらせていただきます。糖尿病・内分泌内科医として市立甲府病院はじめ地域の医療に貢献できるよう精進して参ります。宜しくお願い致します。

ふかさわ ちさ

深澤 千咲

呼吸器内科 医師

本年4月より呼吸器内科に赴任しました深澤千咲と申します。

北杜市出身で山梨大学医学部附属病院を卒業後、山梨大学医学部附属病院で2年間の初期研修を終了し、山梨大学第二内科に入局しました。

生まれ育った山梨で地域の方々に囲まれながら医師として仕事ができることを大変うれしく思っています。まだまだ勉強中の身ですが、少しでも患者さんの力になれるよう毎日精一杯頑張りたいと思います。よろしくお願い致します。



やまだ りょうた

山田 亮太

循環器内科 医師



本年4月より循環器内科に赴任いたしました山田 亮太と申します。

山梨大学医学部を卒業後、山梨県立中央病院で2年間の初期研修を終えて、山梨大学附属病院第二内科に入局しました。その後、山梨厚生病院で2年間勤務し、この度市立甲府病院への異動となりました。私はこの山梨で生まれ育ち、地元の医療に貢献したいと考えており、少しでもこれまでの恩を返すことができればと思っております。まだまだ未熟な身ではありますが、皆様の健康に貢献できるよう努力していきます。今後ともよろしく申し上げます。

おくあき てつや

奥脇 徹也

消化器内科 医師

本年4月より消化器内科医に赴任いたしました奥脇 徹也と申します。

山梨大学医学部を卒業後、山梨大学医学部附属病院にて2年間の初期研修を終了し、山梨大学医学部第一内科に入局し今年3月まで大学病院に勤務していました。まだまだ勉強中の身であり、ご迷惑をおかけすることが多々あるかと思っておりますが少しでも地域医療に貢献できるよう日々精進していく所存です。経験不足な部分が多分にありますが、何卒よろしくお願ひいたします。



むらた ひろあき

村田 博朗

神経内科 医師



本年4月より神経内科に赴任いたしました村田 博朗と申します。

山梨県甲州市の出身で高校までは山梨県で過ごし、北里大学医学部に進学しました。山梨県立中央病院で初期研修を終えた後、山梨大学附属病院神経内科に入局しました。神経内科医として地元山梨に貢献するため日々精進していきたいと考えております。山梨の医療の発展、ヴァンフォーレ甲府の1年でのJ1復帰を強く願っております！！今後ともどうぞよろしくお願ひいたします。

い だ しゅういちろう

井手 秀一郎

呼吸器内科 医師

本年4月から呼吸器内科医として勤務することになりました、井手 秀一郎と申します。

山梨大学卒業後、市立甲府病院で2年間の研修を終了し、山梨大学第二内科へ入局しました。本年度もそのままこへ残り、3年目を迎えることとなりました。研修で学んだことを今度は患者さんに役立てられるよう、より一層努力を重ねていく所存です。また2年間お世話になったご恩を少しでも病院に返せるよう尽力したいと思います。まだまだ未熟な面も多い身ではありますが、何卒よろしくお願ひ致します。



第 69 回・70 回 地域医療連携勉強会が 開催されました

第 69 回・70 回 地域医療連携勉強会を開催しました。
地域の先生方や看護師の方々他、多くのみなさまに
ご参加していただきました。

第 69 回

◆ 演題 1

「薬剤師による訪問薬剤師管理の紹介」

講 師：アークメディカル統括マネージャー
薬剤師 久保田 賢治先生

◆ 演題 2

「地域におけるかかりつけ歯科医の役割」

講 師：花形歯科医院 院長 花形 哲夫先生



第 70 回

◆ 演題

「知っていてほしい認知症の経過と対応」

講 師：日下部記念病院
院長 久保田 正春先生

次回は 9 月を予定しています。
ご参加お待ちしております。

地域医療連携係より



今年度より地域医療連携係の担当者が一部変更となりました。市川・武藤・谷山の 3 名で対応させていただきます。不慣れではございますが、地域の先生方との連携がこれまで以上に強化できるよう努力してまいります。今後ともよろしく願いいたします。

～ 追記 ～

ボランティアの方々のお手入れにより綺麗なお花が咲きました。
病院玄関が華やかになっています。

